

令和8年度《後期》 危険物取扱者試験案内

一般財団法人 消防試験研究センター高知県支部

〒780-0823 高知県高知市菜園場町 1-21

四国総合ビル 4 階 4 0 1 号

TEL 088-882-8286 FAX 088-882-0043



- この「試験案内」は最後までよく読み、記載されている内容に同意したうえで申請してください。
申請された方は、「試験案内」に記載された全ての事項に同意されたものとみなします。
- 受付終了後は、試験日等申請内容の変更、受験の取り止めはできません。

受験手続きから免状交付申請までの流れ

『試験日程、免状の種類と取り扱いができる危険物の種類、試験の種類、方法等』の確認（P2～5）
『電子申請（インターネットによる申請）』か『書面申請（受験願書による申請）』を選択し申請（P6～9）

電子申請（インターネットによる申請）

（一財）消防試験研究センターホームページから申請

電子申請が便利です！

スマートフォンやパソコンで、受付開始日の
9時から最終日の23時59分まで24時間簡単
に全ての種類の試験が申請できます。



願書情報入力（P6）

試験手数料払込（P5・6）

受付完了メールの受信

受験票ダウンロード・印刷（P10）

書面申請（受験願書による申請）

受験願書等を入手、作成し、（一財）
消防試験研究センター高知県支部
へ郵送か窓口にて申請

申請に必要な書類の入手（P7）

願書作成（P7～9）

試験手数料払込（P5・7・9）

受験願書の提出（P7～9）

受験票受取（P11）

受験票及び写真（P10～11）

受 験（P12）

合格発表（P12）

免状交付申請手続き及び免状の交付（P13）

※試験の中止、日程や会場の変更など最新の情報を（一財）消防試験研究センター高知県支部のホームページの《緊急情報》や《重要なお知らせ》でお知らせしますので必ずご自身で確認をお願いします。

令和8年8月

1 試験日程

令和8年度《後期》試験日程は次のとおりです。

願書受付期間	試験日	受験地	試験種類	試験開始時間	合格発表予定日
9月7日(月)～9月18日(金)	10月25日(日)	四万十市	全種類	10:30	11月12日(木)
	11月1日(日)	高知市	全種類	【午前】10:30 【午後】14:00	11月19日(木)
令和9年 1月14日(木)～1月28日(木)	3月7日(日)	高知市	全種類	【午前】10:30	3月25日(木)
				【午後】14:00	

(1) 受験願書受付期間

電子申請：受付開始日の9時から受付終了日の23時59分までの24時間受付。

書面申請：郵送の場合、受付終了日の消印有効。持参の場合、8時30分から17時（土日祝日除く）。

(2) 試験開始時間等について

①受験地が（高知市）の試験は 全種類【午前】と【午後】に分けて実施します。

【午前】【午後】の試験時間帯は当支部が指定し、受験者自身での選択はできません。

②集合時間・試験開始時間、試験会場（P18 参照）は、受験票に記載しますので必ず確認し、間違えないようご注意ください。

試験開始時間の30分前には集合・着席し、試験についての説明を必ず受けてください。

2 試験の種類と取扱いができる危険物の種類

危険物取扱者免状には甲種、乙種（第1類～第6類）及び丙種の3種類があります。

●甲種：全ての種類の危険物の取扱い、定期点検、保安監督

●乙種：免状に指定する種類の危険物の取扱い、定期点検、保安監督

●丙種：乙種第4類危険物のうち指定された危険物の取扱い、定期点検

※甲種又は乙種の危険物取扱者が立ち会えば、免状を持たない者も立会者が保有する種類に応じた危険物を取り扱うことができます。

種 類		取 扱 い の で き る 危 険 物	
甲 種		全 て の 種 類 の 危 険 物	
乙 種	第1類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類等
	第2類	可燃性固体	硫化リン、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等
	第3類	自然発火性物質 及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等
	第4類	引火性液体	特殊引火物、第一石油類、アルコール類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、動植物油類等
	第5類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物等
	第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸等
丙 種		引火性液体	第4類の危険物のうち、 ガソリン、灯油、軽油、第三石油類（重油、潤滑油及び引火点 130度以上のものに限る）第四石油類及び動植物油類

3 甲種危険物取扱者試験

(1) 受験資格

一定の受験資格が必要です。また、資格を証明するための書類の提出が必要です。

	対象者	大学等及び資格詳細	受験願書資格欄の記入略称	証明書類 (コピー可)
	大学等において化学に関する学科等を卒業した方 (専門職大学の前期課程を修了した方) (P.15 別表1 参照)	①大学、短期大学、高等専門学校 ②大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 ③高等学校・中等教育学校の専攻科 (修業年限が2年以上のものに限ります。) ④防衛大学校、職業能力開発総合大学校、 職業能力開発大学校、職業能力開発 短期大学校、外国に所在する大学等 ⑤専門職大学の前期課程を修了 ⑥専修学校【注1】	大学等卒	卒業証明書 又は 卒業証書 ※学科等の名称が明記されているもの
	大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 (P.15～17 別表2 参照)	①大学、専門職大学、短期大学、 専門職短期大学、大学院、専門職大学院 ②高等専門学校の専門科目 ③大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 ④防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、 海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発 総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力 開発短期大学校、外国に所在する大学等 ⑤専修学校【注1】	15 単位 【注2】	単位修得証明書 (17 ページ書式例2 参照) 又は 成績証明書 ※修得単位が明記されているもの
	乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、 危険物製造所等における危険物取扱いの 実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者免状及び実務経験証明書【注3】
		次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の 交付を受けている方 ○第1類又は第6類 ○第3類 ○第2類又は第4類 ○第5類	4 種類	乙種危険物取扱者免状
	修士・博士の学位を有する方 (P.15 別表1 参照)	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方(外国の同学位も含む。)	学位	学位授与証明書 又は学位記 ※専攻等の名称が明記されていること

【注1】専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1,700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか、次のいずれかの書面が必要です。ただし、証明書類に次の内容が記載されている場合は不要です。

○専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し

○専門課程の修業年限が2年以上、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1,700時間以上であることを証明する書面又はその写し(17ページ書式例1参照)

【注2】大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず合算して算定することができます。また、放送大学も同様に算定できます。

【注3】「実務経験証明書」は、事業主等の証明です。電子申請の場合はホームページから様式を印刷、作成しアップロードしてください。書面申請の場合は受験願書B面裏の様式を使用して申請してください。

※旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業生及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格がある場合があります。詳細はお問い合わせください。

※過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票若しくは受験票(控)又は試験結果通知書(資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。)を提出することにより、受験資格の証明書に代えることができます(コピー可)。

(2) 試験科目、問題数及び試験時間

	試験科目 () 内は略称	問題数	合計	試験時間
①	危険物に関する法令(法令)	15 問	45 問	2 時間30 分
②	物理学及び化学(物化)	10 問		
③	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法(性消)	20 問		

(3) 科目免除

甲種試験には試験科目の免除はありません。

4 乙種危険物取扱者試験

(1) 受験資格

受験資格はありません。

(2) 試験科目、問題数及び試験時間

試験科目 () 内は略称		問題数	合計	試験時間
①	危険物に関する法令 (法令)	15 問	35 問	2 時間
②	基礎的な物理学及び基礎的な化学 (物化)	10 問		
③	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10 問		

(3) 試験科目の免除

①既に乙種危険物取扱者免状を有する方は、「法令」・「物化」の全問が免除になります。

②乙種第 1 類又は第 5 類の受験者で、火薬類免状を有する方は、申請により「物化」の一部、「性消」の一部が免除になります。

※科目免除を受ける方の申請方法は、電子申請と書面申請で異なります。

電子申請の場合は、ホームページの内容に沿って申請してください。

書面申請の場合は、受験願書 A 面の科目免除欄の「受ける」に○をし、免状のコピーを受験願書 B 面裏に貼り付けてください。

免除資格者		免除種類	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
①	乙種危険物取扱者免状を有する方	全類	法令	全部免除	0 問	10 問	35 分
			物化	全部免除	0 問		
			性消		10 問		
②	火薬類免状を有しており、科目の一部免除を申請する方	第 1 類 第 5 類	法令		15 問	24 問	1 時間 30 分
			物化	一部免除	4 問		
			性消	一部免除	5 問		
① + ②	乙種危険物取扱者免状及び火薬類免状を有しており、科目の免除を申請する方	第 1 類 第 5 類	法令	全部免除	0 問	5 問	35 分
			物化	全部免除	0 問		
			性消	一部免除	5 問		

〔備考〕火薬類免状とは次の免状をいいます。

◇甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状 (火薬類取締法)

◇甲種、乙種の火薬類保安責任者免状 (火薬類取締法)

5 丙種危険物取扱者試験

(1) 受験資格

受験資格はありません。

(2) 試験科目、問題数及び試験時間

試験科目 () 内は略称		問題数	合計	試験時間
①	危険物に関する法令 (法令)	10 問	25 問	1 時間 15 分
②	燃焼及び消化に関する基礎知識 (燃消)	5 問		
③	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10 問		

(3) 試験科目の免除

下表の免除資格者に該当する方は、「燃消」の全問が免除になります。免除を希望される方は次の2種類の証明書類を提出してください。

①消防団員歴を証明する書類（消防団長等が証明するもの。コピー可）

②消防学校の教育終了証の写し（消防学校長が証明するもの）

電子申請の場合は、ホームページの内容に沿って申請してください。

書面申請の場合は、受験願書 A 面の科目免除欄の「該当する」に○をし、2 種類の証明書類を受験願書 B 面裏に貼り付けてください。

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5 年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組 法第 51 条第 4 項の消防学校の教育訓練のうち、 基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	法令	全部免除	10 問	20 問	1 時間
	燃消		0 問		
	性消		10 問		

6 複数種類の受験

複数種類の受験には、異なる時間帯に受験する**同日併願受験**と、同一時間帯に受験する**複数受験**があります。

電子申請の場合は、ホームページの案内に沿って申請してください。

書面申請の場合は、受験願書を受験する種類ごとにそれぞれ 1 枚ずつ作成し、申請してください。

(1) 同日併願受験

11月1日（日）高知市での試験に限り、乙種第4類と丙種の試験を、午前と午後で受験することができます。

(2) 複数受験

既に乙種危険物取扱者免状を有している方に限り、同一時間帯に他の乙種の試験を、**乙種第4類を除く3種類まで**受験できます。この場合試験時間は1種類につき35分ずつです。受験種類数による試験時間は下表のとおりです。

受 験 数	試 験 時 間
2 種類	35 分×2 種類＝1 時間 10 分
3 種類	35 分×3 種類＝1 時間 45 分

7 試験の方法

試験は、マークシート方式の筆記試験です。

甲種及び乙種については五肢択一式、丙種については四肢択一式で行います。

8 試験手数料について

試験手数料（消費税非課税）は下表のとおりです。

試験種類	甲 種	乙 種	丙 種
金 額	7,200 円	5,300 円	4,200 円

払込手数料が別途必要です。一旦払込まれた試験手数料はお返しできません。

払込方法は電子申請と書面申請で異なります。詳しくは「9 電子申請の方法」（P.6）又は「10 書面申請の方法」（P.7）をご確認ください。

9 電子申請の方法

(1) 申請方法

(一財) 消防試験研究センターホームページから申請してください。

○受付開始日の 9 時 00 分から受付終了日の 23 時 59 分まで受付の 24 時間対応。

(ただし、毎週土曜日午前 1 時～午前 5 時はシステムメンテナンスのため申請不可。)

○証明書類が必要な試験を申し込むと、証明書類のデータファイルをアップロードするための URL が記載されたメールが届きます。案内に沿ってアップロードしてください。

○過去 3 年以内に受験し、同じ試験を再受験する場合には、証明書が不要となります。

(前回の受験票又は結果通知書が必要です。)

○新規に団体での電子申請をご希望の場合は、事前に高知県支部にご連絡ください。

(2) 申請時の留意事項

以下の内容を必ず確認してください。

① パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、当センターのホームページから受験票 (PDF) をダウンロードして自宅やコンビニ等のプリンター、複合機で印刷できること

② 資格の証明書類等を添付する必要がある申請の場合は、審査結果等を通知する当センターからのメールを必ず受信できるようにしておくこと (証明書類に不備があった場合は差し戻ししますので、必ずメールを確認してください。)

③ 資格の証明書類等は PDF 又は JPEG 形式のファイルを準備すること

④ 既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載事項に変更がないこと

〔電子申請には、免状番号 (免状の写真下に記載されている 12 桁の番号) の入力が必要です。〕
〔免状番号のない古い免状をお持ちの方は電子申請できませんので、書面で申請してください。〕

⑤ 複数受験を希望する場合は、願書情報入力画面で必ず複数受験の追加申請を選ぶこと

詳しくは、(一財) 消防試験研究センターホームページ (<https://www.shoubo shiken.or.jp/>) に利用方法や電子申請に関する Q&A を掲載していますのでご確認ください。

(3) 試験手数料の払込方法

下表の決済方法から選択できます。

詳しくは(一財)消防試験研究センターホームページでご確認ください。

決済方法	備考
ペイジー (Pay-easy)	情報リンク方式 オンライン方式
コンビニエンスストア決済	セブンイレブン ファミリーマート ローソン ミニストップ セイコーマート デイリーヤマザキ (一部店舗を除く)
クレジットカード決済	VISA マスターカード JCB アメリカン・エクスプレス ダイナースクラブ
スマホ決済	PayPay メルペイ

領収書は電子申請システムにより、試験日翌日から試験日の翌年度末まで発行可能です。

(4) 電子申請の問い合わせ先

(一財) 消防試験研究センター 電子申請室

専用電話：(全国共通) 0570-07-1000 (有料)

受付時間：9 時 00 分 ～17 時 00 分 (土日祝日除く)

10 書面申請の方法

(1) 申請方法

受験願書、試験手数料払込用紙等入手し（（一財）消防試験研究センター高知県支部、県内の主な消防署、高知県消防政策課で配布しています。）、7～9ページを参考に受験願書を作成し、（一財）消防試験研究センター高知県支部へ郵送か窓口にて申請してください。

《郵送の場合》受付締切日の消印有効（受付記録が残る簡易書留郵便又は特定記録郵便をお勧めします。）

《持参の場合》受付時間 8：30～17：00（土日祝日除く）

(2) 試験手数料の払込方法

① 郵便局（ゆうちょ銀行）窓口用払込用紙での払込み

受験願書と一緒に受け取った専用の払込用紙を使って、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください（ATM機不可）。払込みには、所定の払込手数料が必要です。

【センター指定の払込用紙】

払込金額を記入
甲種・・・¥7,200
乙種・・・¥5,300
丙種・・・¥4,200
※金額を訂正したものは無効
間違った場合は新しい払込用紙を使用

日附印がないものは無効

振替払込請求書兼受領証（受験者本人の控え）

赤枠部分「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書B面に貼付

※「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないように注意してください。
紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書に貼付してください。なお、再度払込みをした後で、紛失した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を発見し、提出したときは、還付申請により先に払い込まれた試験手数料をお返しします。

② 2次元コードでの払込み

受験願書の項目を全て記載のうえ、願書2枚目B面（表）左下に印刷されている2次元コードから支払いサイトに入り、画面遷移に従ってお支払いください。下表の決済方法から選択できます。

決済方法	備考
ペイジー（Pay-easy）	情報リンク方式 オンライン方式
コンビニエンスストア決済	セブンイレブン ファミリーマート ローソン ミニストップ セイコーマート デイリーヤマザキ（一部店舗を除く）
クレジットカード決済	VISA マスターカード JCB アメリカン・エクスプレス ダイナースクラブ
スマホ決済	PayPay メルペイ

領収書は電子申請システムにより、試験日翌日から試験日の翌年度末まで発行可能です。

(3) 書面申請の受付場所及び問い合わせ先

（一財）消防試験研究センター高知県支部

所在地：高知県高知市菜園場町1-21 四国総合ビル4階401号

電話：088-882-8286

受付時間：8：30～17：00（土日祝日除く）

(4) 受験願書の記入例

受験願書はA面、B面及びB面裏があり複写式となっています。折り曲げたりしないでください。

黒色のボールペンで、正確に記入してください。

書き損じた場合は、横二重線を引いて、すぐその上に正しく記入してください。

受験願書は、受験する種類ごとにそれぞれ1枚ずつ作成し、申請してください。

【A面】

申請者氏名は左詰めで記入し、濁点、半濁点は1マス使用
外国籍の方は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入

郵便番号・住所は正確に
団地、マンションの名称まで詳しく記入

【試験日】
P2参照
【試験種類】
P2参照
【受験地】
P2参照
**高知市又は
四万十市**と記入

甲種受験者は
P3の
受験願書資格欄
記入略称を記入

試験の一部免除
の資格がある方
は、P4・P5を
参照し、該当す
る事項に○

2種類以上の受
験者は、それぞ
れの受験願書に
他の種類を記入
受験願書はそれ
ぞれ作成するこ
と

危険物取扱者免
状取得の有無に
ついて○

危険物取扱者試験受験願書 (全国共通)

一財団法人 消防試験研究センター理事長 殿 都道府県名 高知 申請日 令和 08 年 09 月 00 日	
申請者氏名 ショウホウウ	シロウ
氏名 消防	名 次郎
生年月日 大 0 0 年 0 0 月 0 0 日	本籍 高知 都道府県 高知 本籍コード 39
郵便番号 780-xx00 必ず記入してください	自宅電話番号又は携帯電話番号 090-3900-39xx
住所 高知 県 〇 〇 市 〇 〇 町 〇 〇	勤務先名又は学校名 〇〇商事
1-23 菜園場コーポ401号	連絡先電話番号(携帯電話) 088-8xx-00xx 内線()
試験日 令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日	メールアドレス(任意) ①
試験種類 甲 〇 種 第 4 類	他の都道府県での受験申請状況
受験地 高知市	都道府県コード 試験種類 試験日
甲種受験資格	該当する職業等に1つだけ○を記入してください
科目免除	① 高校生 ⑦ 危険物を扱うその他の事業 ② ①以外の学生、教育・研究機関 ⑧ 公務員 ③ ガンスタンド ⑨ 警備業 ④ 化学工業 ⑩ ビル管理業 ⑤ 危険物の卸売業、小売業 ⑪ その他 ⑥ 危険物の運送業
同時に複数の試験を受ける者は、この欄以外に受ける種類を記入すること	免状取得の有無について記入してください ☒ 有 ☐ 無
免状取得の有無について記入してください ☒ 有 ☐ 無	免状番号 0123 0456 0789
取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	元号コード (昭和30 平成4 令和5)
甲 ☐ 乙1 ☐ 乙2 ☐ 乙3 ☐ 乙4 ☐ 乙5 ☐ 乙6 ☐ 丙 ☐	交付年月日 交付番号 入力番号 交付知事 コード
乙 5 03 〇〇 月 〇〇 日 01234	香川 37
乙 4 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日	
乙 5 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日	
乙 6 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日	
丙 4 03 〇〇 月 〇〇 日 12345	東京 13
※団体コード	※交付機関コード
※分限コード	

高知県への申請は**高知**と記入

外国籍の方は**外国籍**と記入

受験願書B面裏の都道府県等コード表に記載有(高知は39)

日中連絡が取れる電話番号を記入

メールアドレスは任意

受験日の3ヶ月以内に他の都道府県で受験申請又は受験した方は記入

主なものに○

危険物取扱者免状を取得している方は、免状番号(免状写真の下番号)を必ず記入

取得している種類を全て記入
免状のコピーをB面裏に必ず貼付
※丙種のみでも必要
コードは受験願書B面裏の都道府県等コード表に記載有

【B 面】

様式第25 (第57条関係) 危険物取扱者試験受験願書

一般財団法人 消防試験研究センター 庶務課 郵送用紙名 申請日 年 月 日

申請者氏名 フリガナ

生年月日 大・中・小 年 月 日生 本籍 既婚 未婚

郵便番号 日本電話番号 携帯電話番号

住所 内線

試験日 年 月 日

試験種別 甲 乙 両種 一 種 類

受験地 試験料 手数料

科目免除 次種別免除(保安責任者免状又は次種別免除を受ける) 保安責任者免状による試験科目免除を (受けている) 乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) 5年以上消防員として勤務し、かつ、消防教育又は専科教育の修了した者に (該当する)

〇払込用紙で払込みの場合

ここに「振替払込受付証明書」を貼ってください。

〇2次元コード経由で払込みの場合

※令和7年4月1日よりご利用いただけます。

左記の2次元コードで手数料の払込みができます。

・2次元コードで手数料を払込む場合は、同封されている払込用紙は使用しないでください。

・2次元コード読み取り元の注意事項をよくお読みになり、試験日、受験地、試験種別を確認し、記入した願書情報と異なる試験を選択しないようにしてください。

・この願書と2次元コードは、固有の識別番号でペアになっております。必ずこの2次元コードを使用してください。

利用可能な決済手段：クレジットカード、コンビニエンスストア、PayPay、メルペイ

決済完了番号(18桁) ※必ず決済完了番号を下欄に記入してください。

※ 1. この願書の大きさは、日本郵便規格に準拠しています。
2. 印刷の都合上、印刷範囲を超える記載事項を記入できません。ただし、特記事項は、記入してください。
3. 印刷の都合上、記入しないでください。

※ 印刷の都合上、記入しないでください。

※ 印刷の都合上、記入しないでください。

(B 面)

払込用紙で払込みの場合

当センター指定の払込用紙を使用し、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払込み(※受付局日附印を必ず確認)、赤枠部分「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼付

2次元コード経由で払込みの場合

決済完了メールに記載されている決済完了番号(18桁)を記入

【B 面裏】

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけしてください。
なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。

都道府県等コード表

北海道01	青森02	岩手03	宮城04	秋田05	山形06	福島07	茨城08	栃木09	群馬10	千葉12	東京13	神奈川14	新潟15	富山16	石川17	福井18	山梨19	長野20	岐阜21	大分22	愛知23	三重24	滋賀25	京都26	大阪27	兵庫28	奈良29	和歌山30	鳥取31	島根32	岡山33	広島34	山口35	徳島36	香川37	愛媛38	高知39	福岡40	佐賀41	長崎42	熊本43	大分44	宮崎45	鹿児島46	沖縄47	外国籍48
-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-------

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名 ○○ ○○ 平成○年○月○日生

取扱った危険物 第4類 品名 ガソリン、重油、軽油

取扱った期間 平成30年1月15日から 令和7年4月31日まで (7年3月)

製造所等の区分 ・製造所 ・貯蔵所 ・取扱所

上記のとおり相違ないことを証明します。
証明年月日 令和7年4月31日

事業所名 ○○株式会社

証明者 代表取締役 氏名 ○○太郎 電話 ○○-○○○○-○○○○

事業所(会社等)の印

証明者の役職印又は私印

両方必要

既得危険物取扱者免状(コピー)貼付欄

裏 表

※各証明書等について、内容確認のため連絡をさせていただくことがあります。

(B 面裏)

各種証明書等をこの部分に貼付

乙種危険物取扱実務経験証明書は、危険物製造所等における実務経験2年以上で甲種を受験する方のみ必要

危険物取扱者免状を取得している方はコピーを貼付
(裏面に記載事項のある場合は裏面のコピーも貼付) ※丙種のみでも必要

11 受験票及び写真について

(1) 受験票に関する注意事項（電子申請・書面申請共通）

- ◎受験票は記載内容を必ず確認し、写真を貼って試験当日に持参してください。
- ◎受験票がない場合、写真がない場合、本人と確認できない写真を貼っている場合は受験できません。
- ◎複数種類受験する場合は、受験票ごとに写真が必要です。

(2) 電子申請の受験票について

試験日の約10日前に申請時に入力されたメールアドレスに、受験票がダウンロードできる旨のメールを当支部から送信します。受験者本人が受験票をダウンロードして印刷し、試験当日必ずご持参ください。

【電子申請者用受験票】A4の用紙に印刷した受験票の記載内容を必ず確認してください。

注意事項

- 次の場合は受験することができません。
 - (1) 受験票がない場合
 - (2) 受験票に写真を貼っていない場合
 - (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 受験票、鉛筆（B又はHB）、消しゴムを持参してください。
- 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 不品行及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 本人確認のため、身分証明書（運転免許証等）の提示をお願いします。
- 電話による合否の問い合わせには、応じられません。
- 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 試験日時を変更する場合には、当センターのホームページに緊急情報文は重要なお知らせとして掲示します。
- 試験会場は全面禁煙です。
- 車、バイク、自転車での来場はご遠慮ください。
- 合格後の免許交付申請書類は試験当日にお知らせします。

（一財）消防試験研究センター 中央試験センター
〒151-0072 1a 03-3460-7798
東京都渋谷区幡ヶ谷1-13-20

危険物取扱者試験 受験票

写 真

縦4.5cm×横3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載（8ヶ月以内に撮影したもの（正面、胸像、肩肩章の上三分身像又はパスポート規格））

しっかりとリ付けしてください。（セロハンテープ不可）

受験番号	E2-0057	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	カシワバ ジョウ		
氏 名	危険物 次郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日[2/2] 14時30分集合 15時00分試験開始		
試験会場	〇〇〇会場 〇〇〇〇〇〇〇〇123		
(試験室)	2階 〇〇教室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			
受験者現住所	東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命館が関ビル19階		

131502E201101E200579 免なし
001-06-0000 60002
試験当日、この受験票は回収します。

山 折 り し て く だ さ い

危険物取扱者試験 受験票（控）

受験番号	E2-0057	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	カシワバ ジョウ		
氏 名	危険物 次郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日[2/2] 14時30分集合 15時00分試験開始		
試験会場	〇〇〇会場 〇〇〇〇〇〇〇〇123		
(試験室)	2階 〇〇教室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			
受験者現住所	東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命館が関ビル19階		

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票（控）は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

必ず写真を貼って試験当日持参してください。

氏名を記入してください。

記載されている試験室に入室してください。

ハサミ等を使い、受験票と受験票(控)を切り離してください。

受験票を山折りして裏面をのり付けしてください。

受験票(控)は合格発表の確認等に必要です。大切に保管してください。

申請者ご自身でA4の用紙に拡大、縮小せずに印刷してください。当センターからは郵送しません。

受験票の作成方法は、（一財）消防試験研究センターホームページでご確認ください。
こちらの2次元コードからも確認できます。



(3) 書面申請の受験票について

試験日の約 10 日前に郵送します。受験票が届かない場合又は紛失した場合は、試験日の 2 日前までに当支部にお問い合わせください。受付時間：8：30～17：00（土日祝日除く）

【書面申請者用受験票】郵送された受験票の記載内容を必ず確認してください。

危険物取扱者試験 受験票（控）

受験番号	E2-0054	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ヒヤノガタ タロウ		
氏名	危険物 太郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日 [2/2] 14時30分集合 15時00分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇会場 〇〇県〇〇市〇〇123		
(試験室)	2階 〇〇教室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

注：記載内容を再確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票（控）は、合格発表の確認と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

危険物取扱者試験 受験票

写真
縦4.5cm×横3.5cm
写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載
6ヶ月以内に撮影したもの
(正面、無帽、無背景の上三分身像又はパスポート規格)
しっかりとのり付けしてください。(セロハンテープ不可)

受験番号	E2-0054	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ヒヤノガタ タロウ		
氏名	危険物 太郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日 [2/2] 14時30分集合 15時00分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇会場 〇〇県〇〇市〇〇123		
(試験室)	2階 〇〇教室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

1315021211101E200544 免なし
001-06-0001 04603
試験当日、この受験票は回収します。

受験票(控)は合格発表の確認等に必要です。大切に保管してください。

必ず写真を貼って、試験当日持参してください。

氏名を記入してください。

記載されている試験室に入室してください。

ミシン目にそって切り離してください。

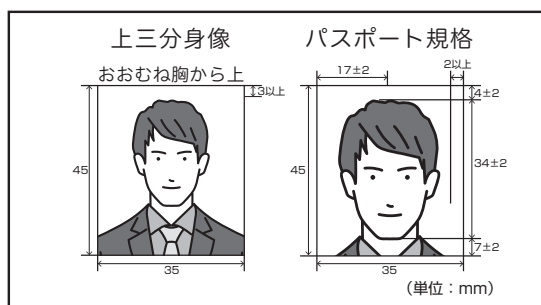
(4) 受験票に貼付する写真（免状作成時の写真にも使用します。）

写真は受験時の本人確認及び合格後の免状作成に使用します。

次の【写真の条件】を満たす写真を受験票にしっかりとのり付けしてください(セロハンテープ使用不可)。免状用として不適切な写真の場合は、写真の再提出を求めることがあります。

【写真の条件】

- ◎縦 4.5 cm横 3.5 cmの大きさ（縁なし）の鮮明なもの
（カラー・白黒どちらも可）
- ◎試験日の 6 か月以内に撮影したもの
- ◎正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く）、無背景の上三分身像又はパスポート規格のもの
- ◎裏面に氏名、年齢及び撮影年月日を記入



【悪い写真の例】

- ◎表面にキズがある写真 ◎コピーした写真 ◎画像処理（加工修正）を施した写真
- ◎イヤホン、サングラスやマスクを着用した写真
- ◎メガネフレームやメガネレンズの照明による反射等が写りこんだ写真
- ◎頭髮が目にかかっている写真 等

12 試験当日、その他の注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ① 試験当日は10・11ページを参考にして写真を貼った受験票を持参してください。受験票がないと受験できません。複数種類受験する方は、種類ごとの受験票が必要です。
- ② B又はHBの鉛筆、シャープペンシル、プラスチック消しゴムを持参してください。
※鉛筆又はシャープペンシル以外のものを使用して解答にマークした場合は、解答が読み取れませんので絶対に使用しないでください。
- ③ 電卓、テンプレート等の定規類及び携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は使用できません。また、これらの電子機器類を時計として使用することもできません。
- ④ 受験票に記載された集合時間までに入室し、受験に当たっての注意事項の説明を受けてください。
- ⑤ 試験会場によっては、試験室に時計がありません。腕時計を持参してください。

(2) その他の注意事項

- ① 台風等の自然災害や、事故等により日程や会場を変更する場合は、(一財)消防試験研究センターホームページに掲載します。特に気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対応して、試験日時を変更する場合等の緊急なお知らせは試験開始の2時間前までに掲示します。
- ② 当センターに一旦提出し、受理された受験申請書類は一切お返しできません。また受験願書受付締切日以降は、申請した「試験日」と「試験種類」の変更及び取消しができません。
- ③ 当センターは試験実施機関であり、受験準備のための講習や参考書等の販売は一切行っていません。

13 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験は、いずれも試験科目ごとの正答がそれぞれ60%以上必要です（試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く）。

なお、乙種第1類又は第5類の受験者で、火薬類免状による試験科目の一部免除を受けた場合は、免除されていない問題数で上記の基準を満たした方が合格となります。

14 合格発表

(1) 合格発表の方法

高知県支部掲示板	当支部の掲示板に合格者の受験番号を掲示します。
ホームページ	合格発表日の正午以降、合格者の受験番号を当センターホームページに掲載します。
試験結果通知書	合格発表日に、受験者全員に試験結果通知書を郵送します。 試験結果通知書が合格発表日から1週間を過ぎても届かない場合は、当支部にご連絡ください。

(2) 合格発表予定日

試験日	受験地	合格発表予定日
令和8年10月25日（日）	四万十市	令和8年11月12日（木）
令和8年11月1日（日）	高知市	令和8年11月19日（木）
令和9年3月7日（日）	高知市	令和9年3月25日（木）

※受験番号や試験結果の合否、試験問題及びその解答に関する問い合わせには一切応じられません。

15 免状交付申請の手続及び免状の交付

(1) 免状交付申請の手続

試験に合格された方は、試験結果通知書兼免状交付申請書を郵送しますので、指定日（免状交付申請書に記載）までに、下表の①～④の書類を（一財）消防試験研究センター高知県支部に郵送又は持参して免状交付申請を行ってください。

指定日を過ぎても申請できますが、試験日後6か月以上経過して申請する場合は、新たな写真1枚が必要です。

提出書類	注意事項
① 免状交付申請書 及び 試験結果通知書	◎免状交付申請書と試験結果通知書は切り離さずに申請してください。 免状交付申請書の記載内容を確認し、誤りがある場合は赤字で正しく修正してください。 免状交付申請書に申請年月日、申請者氏名（合格者本人）、電話番号（日中連絡先）を記入してください。
② 免状交付手数料 〔高知県収入証紙 2,900円分〕	◎高知県収入証紙2,900円分を免状交付申請書裏面の手数料欄に貼ってください。 ※収入印紙ではありませんのでご注意ください。 高知県収入証紙の主な売りさばき所は次のとおりです（高知県庁ホームページで確認できます。）。 ●四国銀行・高知銀行の本店及び県内の主な支店 ●高知県交通安全協会（県内警察署内） ●高知県危険物安全協会（高知県消防政策課内） ●高知県庁消費生活協同組合本店及び県内各支部（県内各総合庁舎内）等 県外等で高知県収入証紙が手に入らない場合は、高知県支部にお問い合わせください。
③ 現在所持している 危険物取扱者免状	◎既に他の種類の危険物取扱者免状を所持している方は提出が必要です。 既得免状を紛失された方は再交付手続を、また本籍、氏名の変更が必要な方は書換の手続をしてください。この手続が完了しないと免状は交付できません。
④ 免状送付用封筒	◎新たに交付する免状を申請者に郵送するための封筒です。 免状の郵送を希望する方は、定型封筒の表面に住所氏名を記入し、簡易書留郵便料460円分の切手を貼り、封筒の裏面下に受験番号を記入してください。 ※郵便料金は変更になる場合がありますので、必ず申請時の簡易書留郵便料金を確認してください。 窓口で免状の受領を希望する方は、必ず高知県支部にお問い合わせください。 【免状送付用封筒の記入例等】 簡易書留郵便を必ず受け取れる自宅(勤務先可)等の郵便番号・住所を記入してください。 簡易書留郵便 料金分の切手 を貼ってくだ さい。 14~23.5cm 9~12cm 受験番号を記入 してください。

※免状に旧姓併記を希望する方は、事前に高知県支部にお問い合わせください。

(2) 免状の交付日

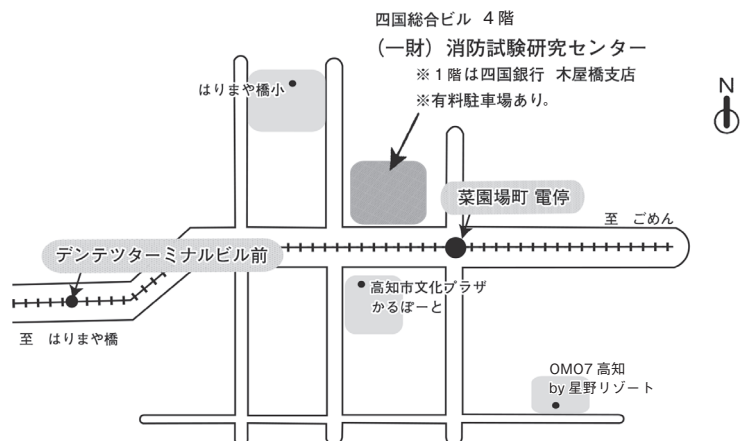
免状の交付日については、交付申請書に記載しますのでご確認ください。

16 問い合わせ先

(1) 受験に関すること

(一財) 消防試験研究センター高知県支部

所在地：高知市菜園場町 1-21
四国総合ビル 4 階 401 号
電 話：088-882-8286
受付時間：8：30～17：00
(土日祝日除く)
※四国総合ビル有料駐車場あり



(2) 電子申請に関すること

電子申請（インターネットからの受験申請）については、当センターのホームページに詳細な利用法や Q&A が掲載されています。電子申請の場合は、必ずこれらをご確認のうえ、お申込みください。
(一財) 消防試験研究センターホームページ <http://www.shoubo-shiken.or.jp>
なお、電子申請に関するトラブル等の問い合わせは下記までお願いします。

(一財) 消防試験研究センター電子申請室

専用電話：0570-07-1000（有料）
受付時間：9：00～17：00（土日祝日除く）

(3) その他

身体の障害等により受験に際して必要な配慮（車椅子、補聴器等の使用など）を希望される場合は、受験申請をする前にご相談ください。なお、内容によっては、ご希望に沿えない場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

(1) 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

(2) 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取扱います。

別表1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別表2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ オ カ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	カ キ	官能基変換論
	安全管理学		応化・プロセス工学		化工物理学		機器分析
	安全工学		回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
エ	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミックス		化工熱工学		岩石学		金属工学

キ	金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面处理 金属物性	サ	材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元	セ	生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミック概論 セラミック材料工学 セラミック電子材料 セラミックプロセッシング セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	テ	電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 ト 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニ ニューセラミック学 ネ 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 ノ 農薬学 ハ バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 ヒ 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学
ケ	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	シ	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論	ソ	相平衡論 相変態論 素材工学 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 チ 超高温材料 調剤学 テ 鉄鋼材料学 鉄鋼表面处理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学	ト	同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニ ニューセラミック学 ネ 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 ノ 農薬学 ハ バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 ヒ 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学
ク	原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	ス	水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学	タ	耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 チ 超高温材料 調剤学 テ 鉄鋼材料学 鉄鋼表面处理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学	ト	同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニ ニューセラミック学 ネ 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 ノ 農薬学 ハ バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 ヒ 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学
コ	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学 細胞培養学	セ	水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学	タ	耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 チ 超高温材料 調剤学 テ 鉄鋼材料学 鉄鋼表面处理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学	ト	同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニ ニューセラミック学 ネ 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 ノ 農薬学 ハ バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 ヒ 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学

ヒ	表面分析 肥料学	フ	分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学	ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学	ユ	有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
フ	ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学	ヘ	平衡論 平衡・反応論	メ	免疫薬剤学	ヨ	窯業工学 窯炉工学
		ホ	放射線計測学 放射線物性計測学	モ	木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学	リ	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
		マ	膜機能工学 マテリアル工学	ヤ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	ロ	
		ミ	水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論	ユ	有機機器分析 有機機能性材料		

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書（専修学校用）

〇〇 年 月 日 入学 〇〇科〇〇コース
〇〇 年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇
年 月 日 生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 〇〇 年 月 日 号	
課程の名称	〇〇〇〇専門課程
修業年限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1,700時間

上記のとおり証明する。

年 月 日
(専修学校の所在地)

〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例 2 単位修得証明書

〇〇第 号

単位修得証明書

〇〇 年 月 日 入学 〇〇部 〇〇科
〇〇 年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇
年 月 日 生

化学に関する 科目名	修得 単位	化学に関する 科目名	修得 単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。

年 月 日

〇〇大学 学長 氏名 〇〇 〇〇印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

試験会場（予定）

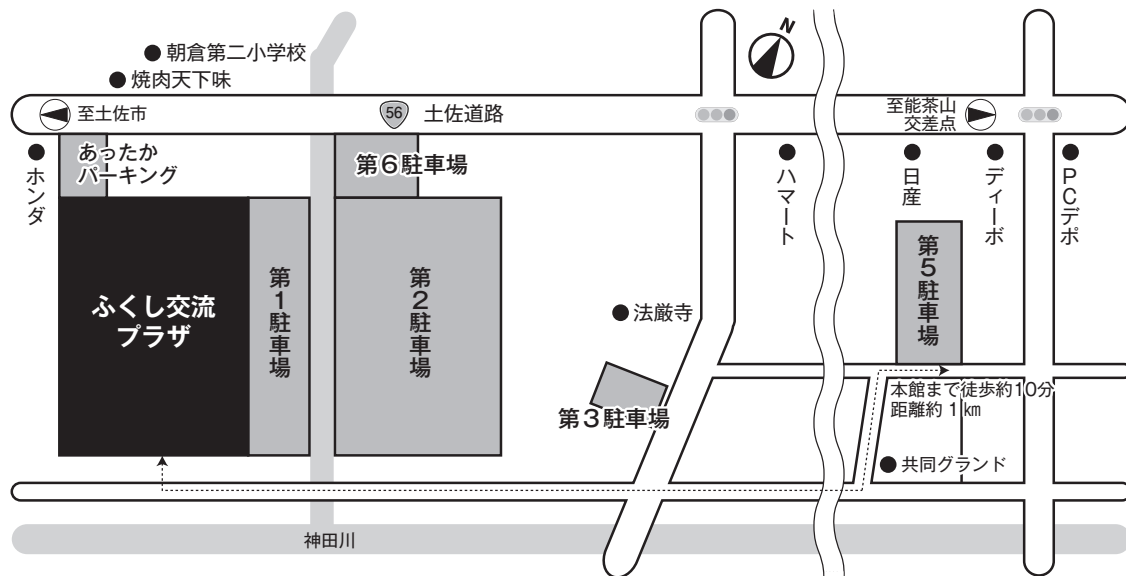
○試験会場は変更する場合がありますので、受験票でよく確認してください。

○試験当日、試験会場への連絡は絶対にしないでください。

受験地 高知市

高知県立ふくし交流プラザ（高知市朝倉戊 375-1）

※駐車場は利用可能ですが、駐車台数に限りがありますのでご注意ください。



受験地 四万十市

中村地区建設協同組合会館（四万十市右山元町3-3-26）

※試験会場は駐車禁止です。公共交通機関等をご利用ください。

